

市の政おおの

52. 9. 1

No.280



ふるさとの遊び「竹馬」 「むすかしいなあ」

こちらは「竹馬コーナー」、親子で竹を切る。出来上がった竹馬に子供が挑戦。「もう少し竹を倒して……そう、その調子」幼いころ体得した竹馬乗りのコツを父親が伝授……。

8月7日の市民グラウンドでは「わんぱく広場」が開かれ、約450人の

親子が竹馬や空カン、輪回しなど昔懐かしい数々の遊びを楽しみました

この広場は市教育委員会とふるさと運動運営委員会(斉藤秀雄委員長)が「郷土に伝わる遊びを通じて子供たちにふるさとを見直させたい」と開いたものです。

両委員会では、これから郷土に伝わる民俗芸能の伝承活動と史跡めぐりなどを開いて「ふるさと大野のよさ」を子供たちに正しく理解してもらおう運動を進めようと意気込んでいます。(写真は自分で作った竹馬に挑戦する子供たち…市民グラウンド)

有終東小学校の建設

工費五億円、来年六月に完成

開校は四月、その間分散授業



有終東小学校完成予想図

室棟延べ 2,304平方 m の2棟で、工事費は5億 390万円です。

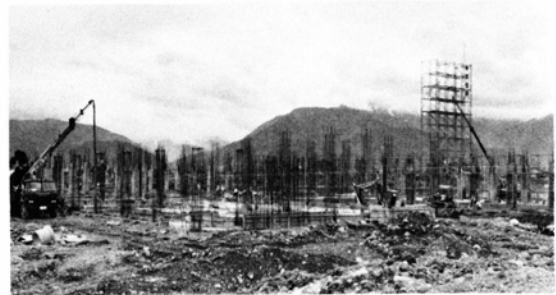
本館には管理室と理科、図書、視聴覚、音楽、図画工作の特別教室、それに言語治療センター（5月号市報で掲載）、教室棟には18の普通教室が出来ます。

当初は「新校舎で開校」を原則とし、来年3月末日の完成を計画していましたが、国の建設補助金などの関係で3カ月遅れることになりました。

そのため、開校と新校舎への移転は切り離し、有終

東小学校開校は予定どおり来年4月1日に行い、1学期間は有終西・南・下庄の3小学校で分散授業、2学期から新校舎へ移ることになっています。

また、昭和54年度には鉄筋平屋建て1,300平方 m の体育館と25 m のプールを建設する計画です。



1階の型わく組みが進む有終東小建設工事

中挟に新築する有終東小学校の建設工事は7月18日から始まり、来年6月末日の完成を目指して順調に進んでいます。

現在、工事が行われている校舎は鉄筋コンクリート2階建て延べ2,553平方 m の本館と、同3階建ての教

阪谷橋架け替え工事

橋げたの取り付け進む

県道南六呂師大野線の九頭竜川に架かる阪谷橋の架け替え工事は、現在橋げたの取り付けが行われています。今年度は1億 1,000万円です。松丸側から川のほぼ中央まで橋げたが架けられ、さらに現在の橋へ仮のつなぎ橋を造り、一時的に歩行者と自転車を通す計画です。

これによって歩行者や自転車は、現在の橋の最狭部分を通らずに安全な新橋を利用することが出来ます。

阪谷橋の架け替え工事は、昭和49

～55年の7カ年計画で、総工費約8億円をかけ進められています。

橋の長さ 302.9 m 、幅 7 m 、取り付け道路を松丸側 231 m 、土打側 187 m 造ります。

松丸側の現在の道路は、急な坂でカーブもきつく、同県道のうち最も危険な所ですが、新しい取り付け道路が完成しますと、緩やかな勾配で安全に松丸へ通じることが出来ます。

(写真はことし1億 1,000万円です。工事が進められている阪谷橋)



スマイル

「竹馬乗り」

お父さんの鼻が高く見えました
——子供

お待たせ…………

上庄中にナイター施設

使用手続きは有終会館で

上庄中学校グラウンドに夜間照明施設が出来ました。

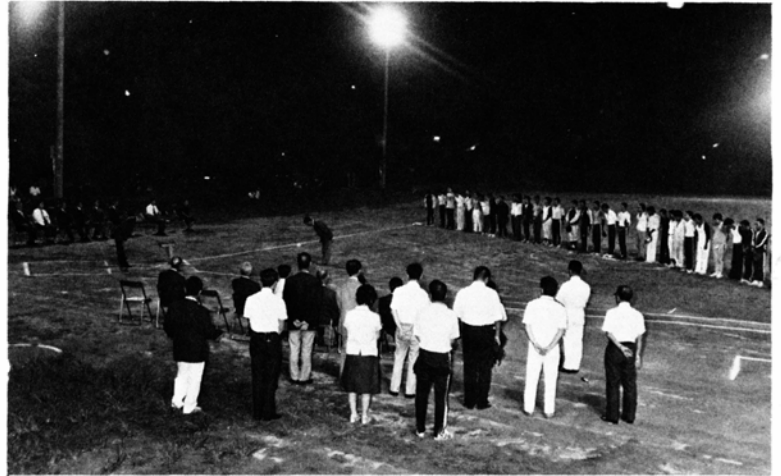
8,000平方メートルのグラウンドに7基の電柱が立ち、全部で52燈の水銀燈がとまります。

野球やソフトの内野部分では200ルクス、外野170ルクス、平均180ルクスの明るさになるよう設計されており、総工費は1,195万円です。

近年、青年や一般市民のスポーツ人口が増えて、市民グラウンドだけではその要望にこたえることが出来なくなりました。

そのため、第2の夜間照明施設として上庄中グラウンドが決まり、スポーツ愛好者からこの完成が待たれていました。使用時間は午後7時～9時です。

市体育課が管理しますので、使用



8月12日に行われた上庄中ナイター施設の点燈式

ご希望の方は希望月の前月25日までに有終会館事務局(6-2287)へ申し込んで下さい。

今月の納税
保険税、国民年金保険料
第2期分
30日までに納めて下さい。

蕨生小学校

音楽・図工・図書室 新しくできました

6月から改築工事が進められていた蕨生小学校の特別教室棟がこの程完成しました。

木造平屋 215平方メートルで工事は1,250万円です。2学期から新しい音楽・図画工作、図書室で授業が始まります。



完成した蕨生小の特別教室棟

水道のはなし

⑥浄水施設(沈殿)

原水の水質がよいときは消毒だけで給水出来ますが、地表水などは浄化しなければ飲料水になりません。

水質の悪い水を飲料に適する水質にすることを浄水といい、浄水を行う場所を浄水場といいます。

浄水は普通、沈殿、ろ過、消毒の3つを組み合わせで行っています。今回は沈殿について述べましょう。沈殿は大別して普通沈殿と薬品沈殿があります。

普通沈殿は沈殿池に原水を約12時間にわたり静かに流し、その間に水



より重い砂、粘土などの浮遊物を沈殿させます。この方法は、原水の水質が比較的良好な所で用いられます。

薬品沈殿は硫酸アルミニウム消石灰・硫酸鉄・塩化鉄のよう

な凝集剤を使い細かい粒子、浮遊物、細菌などを包み込んだり吸着させて浮遊物を取り除く方法です。

鉄筋コンクリート製の長方形

または円形のそう(槽)で3～5時間沈殿。短い時間で浮遊物の多い原水も処理出来ます。

このように沈殿を終えた水は次の行程であるろ過池に導かれます。



納涼打上げ花火



おおのおどり…浴衣姿の市民、観光客でにぎわう（六間通り）

楽しかった！人出は最高12万人

生音頭、行く夏を惜しむ

ことしの「おおの城まつり」は天候に恵まれ、これまで最高の12万人の人出でにぎわいました。

8月1～16日の「おおのおどり」の各会場は、商店街、地元、実行委員会の方々の努力で、それぞれの特色を生かした飾り付けがなされ、十周年にふさわしいふん囲気の中で「おおのおどり」が行われました。

フィナーレを飾る15・16日の六間大通りは、市民や帰省客、観光客が一体となった大きな踊りの輪が幾重にも広がり、「シッコイナ」「カンコ踊り」の生音頭が、行く夏を惜しむかのように人々の心に響き渡っていました。

ことしは十周年ということもあって、納涼打上げ花火の夕べ、たばこ吸い当てコンクール、納涼演奏会、大野むかしといま写真展、など多彩な催しがあり、充実した城まつりでした。相変わらず人気があったのは市内4中学校の吹奏楽パレードと演奏会。5,000人の市民は、若アユのようなきびきびした演奏ぶりに我を忘れて聞き入り、バトンガールの演技に見とれていました。

楽しかった城まつりを、数葉のスナップ写真をとおして、いま一度振り返ってみましょう。



市内4中学校吹奏楽演奏会…元気あふれる演奏で市民を魅了（六間通り）



納涼演奏会…ポピュラーソングで人気を集めた大野市民吹奏楽団（柳廻社境内）



大野むかしといま写真展…昔の町並み、建物など懐かしい思い出がいっぱい (越前大野城)



たけのこ会絵画展…大作、力作ぞろいで大好評 (有終南小学校)



剣道大会…200人の選手が参加し盛大に開催 (有終会館)

たばこ吸い当てコンクール…「チェリーかな? ハイライトかな? 煙にまかれてわからないやあ」 (柳廻社境内)



読書の秋に備えて 大野公民館図書 新刊本を大量購入

読書の秋に備えて、大野公民館図書室に新刊図書が数多く入りました。あなたのご利用をお待ちしています。

〈児童図書〉こどもカレンダー(かこさとし) ママ お話きかせて全8巻 つづり方兄弟(野上丹治) チョコレート戦争(大石真) 海いろの部屋(今江祥智) 宿題ひきうけ株式会社(古田足日) 星の牧場(庄野英二) 小学生工作の本全3巻

〈文学〉横溝正史文庫10冊 ムツゴロウの絵本3冊、恋のくさり(西條八十) 高橋和己の思い出(高橋たか子) わたしのなかのかれへ(倉橋由美子) 果てしなき流れのなかに(藤原てい) 今日は明日の前の日(犬養道子) うぬぼれ鏡(萩原葉子) さきに愛ありて(藤原審爾) まひる野(渡辺淳一) プラトンは赤いガウン

がお好き(小峰元) 青春の証明(森村誠一) 横溝正史読本(小林信彦) 星新一ショートショート3冊 泥流地帯(三浦綾子) 単別王子の叛乱(田辺聖子) たった一人の反乱(丸谷才一) 壺坂幻想(水上勉) 早稲田の阿呆たち(富島健夫)

〈哲学、倫理〉男性における道徳(稲垣足穂) 知的生活の方法(渡辺昇一) 表の論理裏の論理(会田雄次) 天声人語(深代惇郎) 〈社会科学〉マルクス経済学入門(古沢友吉) 中学生が目ざめるとき(鈴木諄) しつけの禁句しつけの名句(新村豊) 自然科学 中学からの医学(広田哲士) ガンを追って(加藤隆) ガン相談全書(石川創二)

〈工学〉クルマとつきあう法(樋口健治) 日本の建築5巻 たのしいステレオ教室(飯島徹) 〈趣味〉日本の演劇(河竹登志夫) 歌舞伎鑑賞入門(戸板康二) 日本映画現代史(富士田元彦) ダンスの踊り方(小林太平)



灯ろう流し…無数の灯ろうが川面に揺らぐ (赤根川)

先人の気概を学ぼう

大野青年会議所、10周年事業に企画

先人の気概を学ぼう、と、大野青年会議所は7月31日～8月7日の8日間、市内の中学1年生82人(男57人、女25人)を北海道研修、に派遣しました。目的地は明治23年に大野人が開拓民として入植した三石郡三石町(みついしちょう)です。少年たちは民宿しながら三石町の人々の温かい人柄に触れる中で、先人の軌跡を訪ね、それぞれに「大野人の進取の気象」を学んで帰ってきました。



三石町の少年と歓談する大野の研修生

北海道研修への発端
会員の郷土史学習が

大野青年会議所が「草の根文化を掘り起こそう」と大野の歴史の勉強を始めたのは今から2年前。郷土の永い歴史の中で会員たちの心を捕えたのは、風雲急を告げる幕末の大野藩でした

陸封の小藩でありながら諸藩に先がけて蘭学・洋学を奨励、大野丸を建造してカラフト探険や北方の国防の役を果たし、財政の建て直しのため北海道との交易を行い、全国各地に大野屋を設ける——など目を見張る史実ばかりです。「これ等の大業を成し得たのは、大野人の進取の気象からだ」「この

先人の気概を学ぶには軌跡を訪ねる必要がある」などの意見が出され、その目的地として、1世紀前に未開の地に挑んだ大野人の血が、今も脈々として流れる三石町に決まりました。

また研修対象も「30歳を超えた青年会議所会員よりも、あらゆる可能性を秘めた多感な中学生を派遣してはどうか」との富平昌宏理事長の提案で「中学生北海道研修」が実現しました。



⑤2 篠座神社

「箱館戦争」戦死者の碑

明治元年、箱館戦争に官軍として大野藩士160余人が参加しました。現在の函館護国神社に大野藩の戦死者も合祀されています。明治2年5月18日戦は終了しました。その年10月に花山峠に碑がたてられ同3年には小さな祠もたちましたその後同7年に現在の篠座神社



の境内に移転されました。小祠には何の説明もありませんが、石碑には戦死者11人の姓名が連ねられた碑文が刻まれています。明治33年(1900)に再建されてから77年の歳月を経っていますが、彫字ははっきりと読みとれます。この戦死者11人の方の墓は、洞雲寺に2基、徳巖寺に1基、蓮光寺に2基、願成寺に2基、善導寺に1基、岫慶寺に1基あり、他の2基は廃寺その他の関係で見当たりません。

名馬とコンブの町「三石」、大野人100年前に入植

三石町は北海道の南端、森進一のヒット曲で有名な襟裳(えりも)岬の近くにあり、面積は346.5平方に人口7,300人、三石コンブと日高馬の生産で全国的に知られています。

昭和50年3月には開基百年式典が盛大に行われ、開拓民の故郷の代表として寺島市長が出席。「百年のノ

中学生、三石町を訪問

強いきずな、を喜び合いました。
 三石に大野人が入植したのは明治23年で、富田村の林小右衛門さん、猪野毛治郎右衛門さん、長谷川吉兵衛さん等が未開の地に挑み、現在の町の礎をつくりました。
 ミツイシ、これはアイヌ語で「小石の多い土地、という意味があり、この開拓の苦難な様子は「三石町史」「歌苗開村八十年記念誌」などによく記録されています。
 入植者は大別すると、大野市、新潟県の能生町、岩手県の葛巻町、兵

庫県の南淡町の4市町からなり、福井県の人々は越前衆と呼ばれ、その多くは歌苗地区に生活しています。
 現在の小池清町長は大野市中野町出身、町会議員も3分の1が越前衆です。
 今は2・3・4世の世代になりましたが「日本一の馬の生産を目指す」とか、寒冷の地ながら「米は反収14俵とらなければ恥ずかしい」などの気迫あふれた言葉が異口同音に聞かれ雄々しい開拓者精神は今も立派に生きています。

したものと同聞かされ、100年前のものが今も生き続けていることを知りました。
 日高馬とコンブ



がとれる三石町は立派な町です。私はこの町を訪れ、その基礎をつかった先人の苦労や勇気、そしてありがたみを身にしてみています。

勇気と強い心を知る

旭 貴尚君 (蕨生 尚徳中1年生)
 大きなフェリーに乗るのが初めてで胸がわくわく。でも船が日本海に出ると見渡す限りが海なので、ちょっと緊張感が出てきました。



それと同時に「こんな広い海を先人は10年以上も前に小さな船に乗ってカラフトや北海道へ航海していたんだ、と思うと、

その勇気に驚かされます。

三石町ではすばらしい牧場と馬を見てきました。この町の基礎をつかったのも大野人と聞いて、昔の人の何事にも負けない強い心と勇気を学びました。

研修生の声

大野の歴史に興味もつ

松田耕治君 (美川町 陽明中1年生)
 三石町では、馬を20頭ほど飼っておられる片山さん宅に泊めてもらい大へん親切にいただきました。
 片山さんから昔の人がこの土地を切り開いたときの苦労話を聞き、このあたりが大野の先人が約100年前にくわを振った所かと思うと胸が熱くなってきました。また、箱館戦



争でも11人の戦死者があったことを知りました。
 この研修では、今まで無関心だった大野の歴史に興味をわいてきたこと、多くの友だちが出来たことが大きな収穫でした。

陽気で親切な人々

山田智子さん (春日 開成中1年生)
 三石町の人々は陽気で親切な人ばかりです。交歓会では両方から踊りを出しましたが、三石町の踊りはテンポが早く楽しいものでした。
 この踊りも昔の大野の踊りが変化

お知らせ

◆福祉年金の支払い月が変更

福祉年金の支払い開始月日は今まで1・5・9月の6日でしたが、これからは4・8・12月の11日になります。
 ただし、昭和52年9月期分に限り今までどおり9月6日から支払われます。また、年金月額が8月から次のように引き上げられました。

| 区 分 | 改正前 | 改正後 |
|-----------------|---------|---------|
| 老 齢 福 祉 年 金 | 13,500円 | 15,000円 |
| 障 害 福 祉 年 金 1 級 | 20,300 | 22,500 |
| 障 害 福 祉 年 金 2 級 | 13,500 | 15,000 |
| 母 子 福 祉 年 金 | 17,600 | 19,500 |

◆心身、障害の相談員

身体障害、精神薄弱者の福祉問題を気軽に相談いただくため、次の方々が相談員として県から委嘱されています。(敬称略)

- 〈視力障害〉前塚光正 (日吉町12-26) 友田美代子 (高砂町8-9)
- 〈傷い軍人〉山田善夫 (水落町3-28)
- 〈肢体障害〉柏太一 (本町6-10) 片岡彦五郎 (中丁)
- 〈聴力障害〉岩本悟 (春日3丁目21-6)
- 〈心身障害〉大石武利 (春日1丁目8-7) 朝国キミ (篠座町4-3) 酒田うめの (春日1丁目4-18)



◆市職員募集

市職員を次のとおり募集します。
<採用予定人員> 事務職男子5人
<受験資格> 昭和29年4月2日~昭和35年4月1日に生まれた者
<試験> 第1次試験10月23日(日)
大野高等学校

第2次試験11月下旬

<受付期間> 9月24日~10月3日
<申込方法> 申込書(市役所庶務課にある)に写真(上半身脱帽正面向き6センチ×4センチで6カ月以内に写したものを)はって提出

◆苦情や意見を行政相談へ

役所の仕事について苦情や意見、要望をおもちの方は、行政相談をご利用下さい。今月は次のとおり開かれます。

9月12日(月)上庄公民館、13日(火)大野公民館、16日(金)小山公民館、20日(火)富田公民館、26日(月)下庄公民館、30日(金)乾側公民館、10月5日(水)阪谷公民館、時間はいずれも午前10時~午後3時です。

◆児童扶養手当該当者いませんか

父親の死別、離婚などによる母子家庭、父親が長期の病気または法律により1年以上拘禁されている家庭等の児童に、児童扶養手当が支給されます。ただし、国民年金の母子年

金や父親に支給される公的年金を児童が受けているときは除かれます。

また、身体や精神に重度の障害がある児童には特別児童扶養手当が支給されており、8月1日から児童扶養手当は1人1カ月1万7,600円が1万9,500円に、特別児童扶養手当は1人2万300円が2万2,500円に増額されます。これらの手当受給に該当されると思われる方は、市福祉事務所児童係(6-1111内線293)へお問い合わせ下さい。

◆ご存知ですか建設業退職金共済

建設業を営む事業主は「建設業退職金共済」に加入出来ます。



この制度は建設現場で働く人たちのために国がつくったもので、作業員が働いた日数分の掛金が全部通算され、仕事をしなくなったときに退職金が支払われます。

特典として事業主が払い込む掛金は必要経費として全額免税になり、作業員の受ける退職金は退職所得扱いとなり、事実上は無税、その上退職金には5~10%の国庫補助金がつきます。

加入事業主には「融資制度」もありますので、未加入の事業主は加入して下さい。お問い合わせは建設業退職金共済組合福井支部(福井市御幸3丁目 福井県建設会館内24-1184)へどうぞ。

◆中小企業退職金制度に加入を

中小企業退職金制度は国の援助で大企業並みの魅力ある退職金が支給出来ます。

この制度の特色は①月々わずかな掛金で将来多額の退職金が支給出来る②国の制度ですから安全③退職金には国の補助金が出る④従業員のための福利厚生施設を設置する場合には低利の融資が受けられる——などです。

まだ加入していない企業はぜひ加入して下さい。

詳しいことは中小企業退職金共済事業団広報課(東京都港区芝公園1丁目7-6 電話03-436-0151)へお問い合わせ下さい。

◆文化祭の出演、出品

文化祭への出演並びに作品を募集しています。

出演は歌、演劇、踊り、演奏その他の芸能、展示は絵画、書道、デザイン、工芸、その他です。

出演出品希望者は9月30日までに氏名、住所、種目、題名(作品名)を最寄りの公民館または市教育委員会社会教育課へご連絡下さい。

◆献血にご協力を

次のとおり献血を行いますので、ご協力下さい。

9月16日(金)午前10時~午後3時

奥越合同庁舎前

9月29日(木)午前10時~午後3時

国鉄大野駅前

風見鶏 (Illustration of a rooster)
ある本によると人間の平均寿命は、四千年前では十八歳、二千年前で二十二歳、百年前で三十五歳ぐらいたったそうだ。人生わずか「五十年」は古くからの言葉だが、平均寿命が五十歳になったのは戦後のこと▼それが現在では男子七十二・一歳、女子七十七・三歳と急速に延びた。これは大変結構なことだが、その人生を豊かな実りあるものにしなければ結構とは言えない▼去る七月二十九日に木本の加藤くらさんが、百一歳六カ月の長寿を全うして大往生を遂げられた。輪島関ファンで、大相撲の放映にはテレビの前にくぎづけの彼女が、常に「長生きのコツはよく寝てよく働くこっちゃ」と、健康と勤労の尊さを強調されたという。仕事と趣味を持つことは、豊かな老後を送る大きなポイントである▼停年退職は現在の社会情勢からとられる措置であって、決して老齢を意味するものではない。この年齢はまだ壮年期に入る。「まだ老人ではない」と言って敬老会に出席しない人があるが、事の善悪は別としてその意気や盛んなりと言いたい。自ら老人として引こもりたり、周囲がなべて老人扱いらしめてはならない▼「年齢に生命を加えよ」という言葉がある。たとえ老いたりとも、物事に消極面からのみ対処せず、経験において精神面において、人間完成へ一歩一歩近づく努力をしなければならぬという、前向きの姿勢を表わした言葉である。
D 生

発行 大野市 編集 秘書広報課(電話 0111) 印刷 松浦印刷所